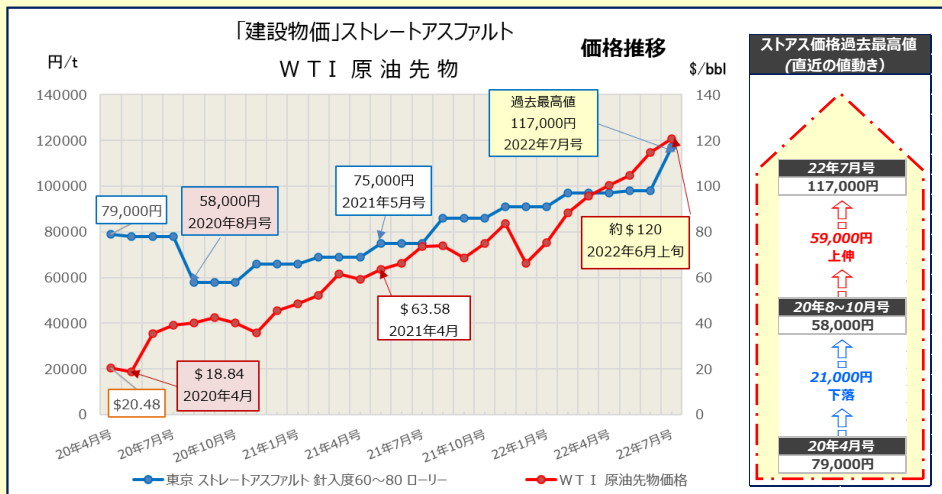


【アスファルト混合物】ストアス価格過去最高値、メーカーの売り腰強まり、各地で上伸

【原材料① ストレートアスファルトの価格推移（東京）】

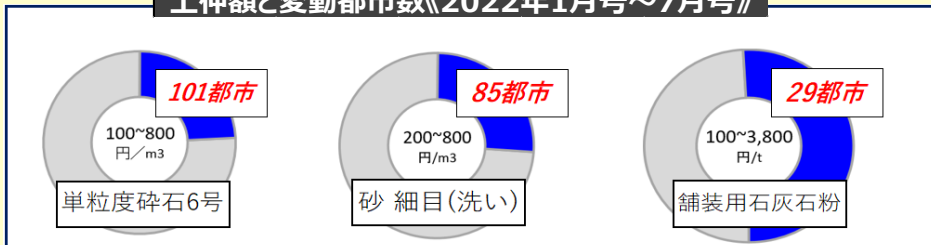
7月号の針入度60~80でトン当たり**117,000円**と前月比**19,000円上伸し、過去最高値**となった。原油価格の値上がりが続くなか、販売店各社は、仕入れ価格・輸送コストの上昇に見合う売価とすべく、強腰を堅持し交渉。目先、強含みの公算が大きい。



【原材料② 骨材・舗装用石灰石粉の価格動向（全国）】

輸送費などの値上がりを受け、ストアス以外の原材料も上伸している。

上伸額と変動都市数(2022年1月号~7月号)



【需給動向】 2022年4月の出荷量は246万tで前年同月比4.4%の減少

《全国》アスファルト混合物合材製造数量 (万t)				
2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
4,000	3,930	3,910	3,940	3,870

出典：一般社団法人日本アスファルト合材協会

【アスファルト混合物の価格動向（全国）】

たび重なる製造コストの増加を背景に、全国的に値上げ交渉が行われている。2021年12月号と比較した結果、**324都市で100~3,000円/t上伸**。7月号では値上げ幅、都市数ともに大幅に拡大した。現在も値上げ交渉は続いており、**多くの都市で、先行き市況は強含み**となっている。上伸した主な都市・金額、先行きは下記のとおり。

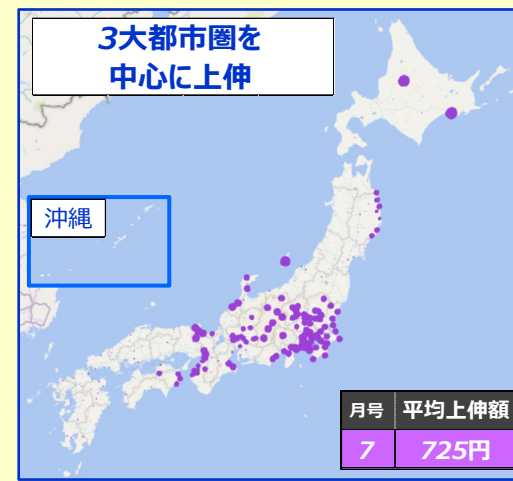
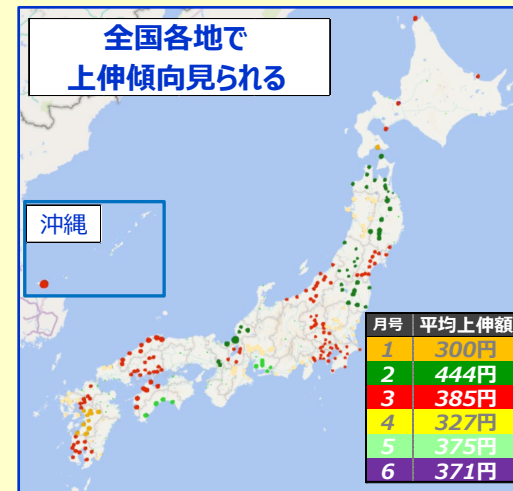
1~6月号 270都市で上伸

主な都市名	上伸額 (円/t)
山形・東京・横浜・千葉・さいたま	200
札幌・青森・仙台・新潟・津・大津 福井・広島・長崎・熊本・鹿児島	300
静岡	400
秋田・盛岡・福島・岐阜 松山・高知・佐賀	500
松江	600

7月号 133都市で上伸

主な都市名	上伸額 (円/t)
名古屋	300
大阪	400
和歌山・徳島	500
東京・横浜・さいたま・水戸 前橋・岐阜・静岡	700
甲府・長野・金沢	1000

都道府県庁所在地・政令市では41都市が上伸



7月号調査時における「先行き、強含み」の県庁所在地・政令市

札幌 / 青森・盛岡・仙台・秋田・山形・福島 / 東京・横浜・千葉・さいたま・茨城・栃木・群馬・山梨・長野
新潟・富山・石川 / 名古屋・津・静岡・浜松・岐阜 / 福井・京都・大阪・堺・神戸・奈良・和歌山
鳥取・岡山・広島・山口・松山 / 福岡・北九州・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島・那覇